

平成30年度 学校評価書

大津市立逢坂小学校

評価の基準 (3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった 0:まったくできなかった)

項目	評価の観点	自己評価(教職員による評価と平均値)(3・2・1・0)				学校関係者評価(3・2・1・0)		今後の改善に向けて
		昨年度	今年度			中項目の評価	ご意見・提言等があればお書きください。	
		項目別	中項目	項目別	中項目			
主体的、対話的で深い学び	1 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践を行っている。	2.08		2.20		2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの学び合いやたて集団での活動は子どもたちを生き生きと成長させていると思う。</li> <li>お互いに認め合って協力し合える学びは大切なことと思う。</li> <li>できない子どもへの配慮を常に忘れないようにして欲しい(実技を伴う教科について)</li> <li>参観の中で大変感動を伴う授業も見られた。</li> <li>子どもたちが将来にわたって大切にできる学力を、個々の努力の筋道を大切にしながら育てて欲しい。</li> <li>参観の中で大変感動を伴う授業も見られた。</li> <li>子どもたちが将来にわたって大切にできる学力を、個々の努力の筋道を大切にしながら育てて欲しい。</li> <li>結果ではなく、そこまでの過程を大切にすることが重要と感じる。</li> <li>子どもたちが話し合いながら学習を進める姿が見られ、活発な授業である。</li> <li>学び合いをする子どもの姿が幼稚園でも見られる。アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムを含め幼少で共に学んでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も<b>主体的、対話的で深い学び</b>を<b>具体的に追求</b>する中で授業実践を日常化し、児童が共に学び、共に高め合う学校を目指していく。</li> <li>分らないことを「分らない」と素直に友達に尋ね、その願いに素直に応える子ども同士の関係づくり、<b>自尊感情に支えられた支持的風土を土台に</b>、学力向上を目指していく。</li> </ul>
	2 協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善を行っている。	2.29	2.19	2.17	2.22			
	3 主体的、対話的で深い学びを追求する授業研究や研修会を行っている。	2.20		2.30				
道徳教育の充実	4 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実践を行っている。	2.16		2.50		2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育は、学校任せにしないで各家庭や地域を挙げて努力して進めていきたい。</li> <li>登下校の際にスクールガードへの「いつもありがとう」などの挨拶が素晴らしいと感じる。</li> <li>登校班のリーダーが下の学年の子どもたちに優しく接することができる。</li> <li>穏やかで優しいが、強い心でたくましく生きる力もつけて欲しい。</li> <li>子どもたちが主体的に向かう様々な取組ができていく。</li> <li>子どもたちが経験してもまれていろいろなことを身につけていくので、社会人になっても生きていく力を自分自身で持てるように助言してやって欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度からの「特別の教科道徳」の実施に向けて、<b>指導計画、指導内容の明確化指、導方法の確立等の準備を計画的に進めていく。</b></li> <li>自尊感情や人・もの・自然を大切に「豊かな心」を育むため、計画と評価のサイクルを止めることなく、取組を充実させていく。</li> </ul>
	5 道徳の授業研究や資料の開発・整備・交流を行っている。	1.87	2.20	2.79	2.69			
	6 保護者等への道徳の授業公開を行っている。	2.58		2.79				
体力づくり	7 たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善を行っている。	2.50		2.45		2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが楽しみながら様々なことに取り組む工夫がされている。子どもには得意不得意もあるので、頑張っても過程を大切にほめてあげて欲しい。</li> <li>体育の宿題のあり方・歯みがきカレンダーの取組ませ方を再度検討して高学年の子どもたちも進んで取り組めるように工夫をお願いしたい。</li> <li>いろいろな工夫を考えていると感じる。</li> <li>よくしてくれている。体育苦手な子が頑張って縄跳びをしている。</li> <li>縄跳び大会等工夫のある取組がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力向上、運動習慣の定着に向け、今後も家庭の協力を得る努力をしながら取り組んでいく。</li> <li>教員主体の取組はもちろん、児童会主体の取組等についても評価改善しながら継続して取り組んでいく。</li> <li><b>体育の宿題の内容・方法の改善に取り組む。</b></li> </ul>
	8 体力づくりを推進する運動実践をしている。	2.62	2.54	2.65	2.47			
	9 体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成している。	2.50		2.30				
指導改善(組織的・計画的)	10 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫や改善を行っている。	2.29		2.00		2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータを使つての家庭学習は有効ではあるが、一人ひとりの子どもたちがコンピュータを使える環境にあるかを確かめながら、慎重に進めて欲しい。</li> <li>大妻学習の工夫がされている。一方であまりにも親切丁寧すぎて子どもたちの自主性が損なれないように気をつけて欲しいと思う。</li> <li>学びの条件整理がとめてきている。一方で社会に出て行く子どもたちの自主的な学習力もつけて欲しい。</li> <li>エネルギータイムの10分間の取組により学力が身につけてきているように感じる。</li> <li>学年内で統一した取組ももっと多しともよい。</li> <li>授業の初めに「めあて」を提示することにより本時の授業で何を気にしたら良いかが分かってとても良いと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も自ら学ぶ力の向上のため、子どもたちの主体的な学びのサイクルを作り出すよう<b>教材研究を軸においた指導改善</b>に努めていく。</li> <li>「めあて」で振り返りを指導過程に定着させることはもちろん、指導者がつけた力の明確化を図り、児童にとっても見通しの持てる「めあて」の提示を実践する。</li> </ul>
	11 教職員の指導力及び組織的な教育力の向上に努めている。	2.20	2.15	2.20	1.97			
	12 校務の効率化など多忙化解消の取組と教育活動の質の改善を行っている。	1.95		1.70				
① 家庭・地域との連携	13 保護者の子育てに対する積極的な支援を行っている。	2.20		2.20		2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心を示して保護者や地域に方々にホームページを閲覧してもらうには努力が必要である。ゲストティーチャーなど良いことをたくさん知ってもらおうと良い。</li> <li>学校ホームページ、学校だよりなど楽しく見ている。学校の取組がよく分かる。</li> <li>地域の防災訓練に高学年の参加や教職員の参加を求めたい。</li> <li>保護者アンケートの評価の低下を分析してより一層の教育の充実を求めて欲しい。</li> <li>先生の仕事が多岐にわたっているで少なからず大変なことを願う。</li> <li>スクールガードの方々と年齢をこえた関係があることがありがたい。</li> <li>「めあて」と「ふりかえり」を示し位置づけられた様々な工夫がされている。子どもたちがいきい、学校が楽しい授業がよく分かるといってくれることが一番だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育実践活動や学校からのお知らせ、<b>学校ホームページ</b>など、今後も継続して広報活動に取り組む。</li> <li>地域・保幼小中が連携した防災教育・防災訓練のあり方を模索し、実施に向けて検討する。</li> </ul>
	14 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用をしている。	2.33	2.20	2.45	2.27			
	15 防災教育の推進と安心・安全な学校づくりを行っている。	2.08		2.15				
② 保幼小中の連携	16 子どもの校種間交流や教員の出前授業を行っている。	2.25		2.30		2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中の連携をすることで系統的な学習の構築や、成績のギャップを感じることなく学習できるようになると良い。</li> <li>小中間の引き継ぎを大切にしながら、同じ目線で子どもを育てたい。</li> <li>教員間の連携がもう少しあることを望む。</li> <li>校種間の授業公開、合同の研修会はなかなかできにくい状況にあるので、子どもたちの交流を通して保幼小中の連携をしていきたい。</li> <li>交流・合同研修を行うのは良いことである。多忙の中でできていないことを仕事のスリム化の中で実施して欲しい。大人も子どもも出会いには学びの場となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>児童と生徒・園児を中心にしながら</b>、児童と教員、教員相互の交流・連携を活性化させると共に、保幼小中のつながりを意識した取組を継続して展開する。</li> <li><b>学年を意図した学年部の取組や低・中・高学年部での取組を実施する。</b></li> </ul>
	17 校種間の合同研修会を行っている。	2.00	1.98	2.10	2.01			
	18 校種間の授業公開、カリキュラム研究をしている。	1.70		1.63				
① 生徒指導体制の充実	19 いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導に努めている。	2.66		2.65		2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々なことを考えて子どもたちが自立で会談できるように取り組まれている。いじめが「やった」「やられた」「みていた」という三層構造の中で早期解決を考えると子どもたちの思いを置き去りにした謝り合いや保護者への対応にならないようにすることを願っている。</li> <li>いじめなどの問題では、大人の解決に導く支援も大切だが、子ども自身で解決できるような力もつけていきたい。</li> <li>「学校のみまもりを守っている」「あいさつをよくしている」の項目で、高い数値が出ている。しかし、子どもの現状と合っていないと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「報告・連絡・相談」システムの常態化を継続し、危機意識を持って、未然防止・早期発見・早期対応に取り組むと共に、情報共有を基盤とした組織的対応を継続して実施する。</li> </ul>
	20 生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進している。	2.62	2.59	2.55	2.58			
	21 6つの約束の徹底(家庭・地域・関係機関との連携による指導)を行っている	2.50		2.55				
② 特別支援教育の充実	22 個別指導計画の作成と活用を努めている。	2.50		2.55		2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別な支援の必要な子どもたちに発達に沿った支援や対応がなされている。</li> <li>教室に戻ってこない児童のために、他の児童が迎えに行つてなかなか戻れなくなることがあると聞く。同級生の関係を考えてとそれ大切だが、体制的に良い方法はないものか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関・保幼小中・保護者と連携しながら、出来る限りの合理的配慮を実施し、どの子も学んでよかったと思える体制づくりと指導・支援を行う。</li> <li><b>引き続き、個性や個別の支援を大切にしながら必要に応じて個別の支援計画や個別の教育指導計画を作成し大局的見地に立った支援を行う。</b></li> </ul>
	23 組織的・計画的な特別支援教育体制の確立をはかっている。	2.45	2.47	2.65	2.58			
	24 関係機関と連携した相談体制の充実を努めている。	2.45		2.55				
学校満足度	25 児童生徒の学校満足度	2.10		2.30		2.70	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの笑顔があふれる学校、一人ひとりが大事にされていることを感じられる学校になって欲しい。</li> <li>居心地の良い学校になることを願っている。</li> <li>6年生がこの6年間を大切に思える雰囲気になっている。</li> <li>できないとダメというのではなくできる喜びから始めるということに共感を覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員が教育目標の具現化に向けて、今後も自ら切磋琢磨しながら、自信をもって教育実践活動に取り組む。</li> </ul>
読書活動	26 朝読書等の読書活動の積極的な取組	2.50		2.55		2.70	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の忙しい時間帯、朝読書に時間に教師からの連絡の時間が朝読書の時間に食い込むことがあった。</li> <li>打出中ブロックで共通した取組を今後も続け、充実させていきたい。</li> <li>児童も充実した時間だと感じている</li> <li>一部読書活動に消極的な児童がいるため、親しめるような手立てが必要である。<b>各学年で読む図書の内容の充実を努めたい。</b>また、家庭での習慣化を目指して連携および情報発信を強化していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな感性や情緒を育み、学力向上の基盤となる読書活動の取組を今後も継続していく。</li> <li><b>今後、読書の内容を教職員間で一致させて朝読書の4原則に立ち返った読書活動を推進する。</b></li> </ul>
体験活動	27 環境教育等体験活動の積極的な取組	2.41		2.63		2.90	<ul style="list-style-type: none"> <li>恵まれた地域環境の中でとても素晴らしい活動をしている。継続して取り組むことは子どもたちの良い経験になる。</li> <li>いろいろな体験をさせていたideていると思う</li> <li>エコスクールの事業で平成29年度には登録財団より立派な賞を頂いた。地域も頑張るので学校との連携を今後も願う。</li> <li>ゴミ袋でたこ作りをするなど利用できるものを利用して体験できる学習を行うのも良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の伝統である環境教育をはじめとする体験活動について、評価・改善を繰り返して、<b>更にその重要性を教職員一同で再認識するとともに充実・発展を目指していく。</b></li> </ul>

※ 児童生徒アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入) **2.48**

※	保護者アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.12		
---	-------------------------------------	------	--	--